

令和 8 年第 6 回
杉戸町議会定例会
(9 月)

一般会計決算
総括質疑通告書

一般会計決算総括質疑通告書

令和 8 年 9 月 1 日

議 会 議 長 様

会 派 名 政

議員氏名 野 口 俊 彦

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 町税収納状況は	令和7年度の町税確保について、以下、伺う。 (1) 自主財源の根幹となる町税の収入済額は、66億1,786万7,291円となり、前年度比8億5,167万248円、14.8%の大幅な増収となったが、増収となった要因は。また、このようなことから、景気は上昇しているとみてよいのか。 (2) 町税の収納率は、全体で98.8%と引き続き高い数値を示している。収納率アップの要因とその評価は。また、滞納繰越分の調定額については、前年度比11.95%の減少となっているがどのように分析しているのか。 (3) 不納欠損額は前年度比、1,157万9,212円、76.4%の減額となり極めて減少した結果となったが、その要因は何か。これは、一時的なものなのか。それとも今後も改善していく見込みなのか。 また、一方で、収入未済額は前年度比、670万1,625円、9.6%の増額となっている。この点についてはどのように分析しているのか。 税負担の公平性の観点からすれば、早期に収入未済額の解消に向けた取組を図る必要があると思うが、見解は。	町長 副町長 担当課長

9 月 1 日 午前 11 時 24 分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 事業執行予算の配分は	(1) 令和7年度の実質単年度収支は、税収の増額等を背景に令和3年度以来の黒字となったが、予算を事業配分する中で、どのような工夫をしてきたのか。 また、黒字に転じた要因をどのように分析しているのか。 (2) 町債は、12億9,130万円、前年度比6億4,410万円、99.5%と極めて高い結果となったが、その要因は。 一方で、財政調整基金残高は、12億2,787万8千円、前年度比2億8,461万2千円、30.2%の伸びとなったが、その要因は。 また、事業執行の財源確保に伴い、町債と財政調整基金からの繰入とのバランスをどのように分析し予算配分しているのか。	町長 副町長 担当課長
3. 令和7年度の事業評価は	(1) 令和7年度は、「第6次杉戸町総合振興計画前期基本計画」、「第2期杉戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、さらには「第7期杉戸町行政改革大綱」など、計画に掲げた目標の実現に向けた最終年度であった。これら各種計画の令和7年度における事業執行に対する成果及び評価は。また、各事業を推進してきた上で問題、課題となった点は何か。 (2) 令和7年度においても多額の不用額が生じる結果となったが、事業執行をする上では実施計画どおりに予算執行ができたのか。不用額が多い主な事業内容及び要因をどのように分析、検証しているのか。	町長 副町長 担当課長
4. 決算を踏まえ、窪田町長の公約事業の成果は	(1) 令和7年度決算は、窪田町長1期目の集大成ともいえるものとなったが、決算の状況（執行率や成果など）を踏まえ、町長が掲げた4つの優先政策及び9つの課題に対する町長自身の評価はどのようなものだったのか。 (2) 実現に向け努力してきた中で、問題、課題となった事業は何か。 また、進捗が遅れている事業への対策は考えているのか。	町長 副町長 教育長 担当課長

一般会計決算総括質疑通告書

令和 8年 8月31日

議 会 議 長 様

会 派 名 公 明 党

議員氏名 平 川 忠 良

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 決算の評価は	窪田町長は、令和7年度施政方針で「町民の皆様から笑顔が生まれるまち、町内外の方々から選ばれるまちとするため、第6次杉戸町総合振興計画に掲げた未来像の実現に向けた取組みと、私の公約に掲げた施策等を着実に進めながら、新しい杉戸へのまちづくりを推進してまいります。」としていた。また、予算編成方針では、「みんなが住みたいと思える町にする予算」をテーマに掲げた。 施政方針や予算編成方針に基づき取り組んだ結果、どこまで前進が図られ、どのように評価しているのか。また、人口減少対策の成果や評価は。	町長 副町長 教育長 担当課長
2. 決算を踏まえて今後の取組は	(1) 令和7年度の実質単年度収支は、町税等の増加等を背景として、4億8,533万4千円の黒字となったが、扶助費や人件費など義務的経費が増加傾向である。義務的経費抑制策の今後の考え方や計画は。 (2) 老朽化対策や施設改修は歳出の中で大きな割合を占めている。優先順位（選択と集中）はどのような基準で判断しているのか。 (3) 基金は、令和7年度決算年度末現在において、財政調整基金12億2,787万8千円、公共施設改修基金11億4,623万5千円であるが、それぞれの基金残高についての評価と目標残高はどのように考えているのか。また、今後の取組は。	町長 副町長 担当課長

8月31日 午前9時13分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
	(4) 町として、常に財源確保策を視野にいれて事業を進めていくことが重要である。令和7年度において、国や県に働きかけを行い、財源確保に成功した事業はあるのか。また、財源確保策の今後の新たな取組は。 (5) ふるさと応援寄附金拡充の具体的な取組と成果は。また、結果を踏まえて、今後の取組と更に、企業版ふるさと応援寄附金の取組は。	

一般会計決算総括質疑通告書

令和 8年 8月31日

議 会 議 長 様

会 派 名 日 本 共 産 党

議員氏名 北 出 恵 造

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 財政指標からみた総括的な結果の分析は	令和7年度決算は、少なからず前進した面があった一方、停滞あるいは後退と考えられる面もあった。 こうした中で町民生活には引き続く物価高騰に加え、国の農政失策による米不足・米価の暴騰が襲った。町はこうした事態にどのように対応したのか、以下伺う。 財政指標からみた総括的な結果については、令和7年度杉戸町一般会計歳入歳出決算書の「実質収支に関する調書」によれば、歳入歳出差引額は、14億4,019万2千円の黒字、また、実質収支額も13億4,318万5千円の黒字である。これをどう分析するか、明らかに。	町長 副町長 担当課長
2. 歳入における町税の伸びの要因は	歳入については、町税の伸びが大きい。施策成果表によれば、個人町民税の納税義務者数は23,659人、調定額は25億4,824万6千円（前年度22億4,123万3千円）13.70%の増である。 また、法人町民税は調定額9億4,531万7千円（前年度4億6,961万円）で101.30%の増である。 それぞれの増加要因はどこにあるか明らかに。	町長 副町長 担当課長

8月31日 午前 9時22分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 歳出の状況は	(1) 物価高騰対策（一人7,000円の商品券、水道基本料金の免除4か月分など）については、国の地方創生臨時交付金の活用を基本としたもので、1月に補正予算が編成された。町独自の対策は何かあったのか。 (2) 農業政策について、全国的な米不足が起こったが、本町における米の生産量は施策成果表によれば、4,264.0tと前年度4,094.2tより伸ばしている。この要因を明らかに。 (3) 住宅リフォーム工事費補助金について、決算書では890,389円の支出、施策成果表によれば11件とある。申請数を明らかに。 (4) 実質収支額は13億円強の大幅な黒字であった。傾向を的確に把握し、町民生活の改善にタイムリーに対応すべきではなかったか（例えば、物価高騰対策町独自対策、住宅リフォーム工事費補助金の枠拡大、就農対策強化、インフラ整備、学校給食費の無償化推進など）。	町長 副町長 教育長 担当課長
4. 委託料や不用額はさらに縮減を	(1) 議会活動の資料によれば、委託料決算額は27億8,008万6千円と前年に比べ1億4,086万5千円増加している。ただし、歳出全体に占める割合は16.5%で0.1%減っている。いずれにしろ多額の決算となっているが、これをどのように考えるか、明らかに。 (2) 不用額総額は4億9,208万円で歳出予算現額全体に占める割合は2.72%、前年度は5億1,807万9千円で3.09%となっている。額、率ともに前年に比べ圧縮されているが、まだ多額である。この分析は。 (3) 委託料や不用額の縮減策について、どのように講じてきたのか、明らかに。	町長 副町長 担当課長